

## 問 どうなる?!放課後子ども教室

答 今春、再出発を目指す



西元和代

西元 3小学校のうち特に精華小学校は月一回の土曜のみ実施である。町の現状を見て必要だと認識していれば努力目標に向かい模索していくはず。どう認識し努力してきたか。

川上教育長 本当に必要なだと思っっている。近隣の空き家の交渉をしたが課題がある。今後は原点に戻り集会所の改築も含め地域ともう少し踏み込んだ検討を考えている。また指導者確保等、保護者との協議会を中心に進める。来年度当初には3小学校の子ども達が同じサービスを受けられるようにしたい。

## 一般質問

問 脱!複式学級への目玉施策は

答 公平性を重視

西元

複式のデメリットの解消

池田町長

玉施策にする等、特別な考えはないか。

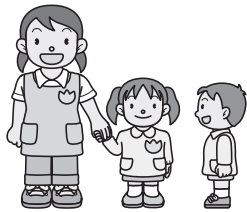
習は、複式である精華小学校のみが行っているわけではない。複式で学ぶ子の保護者は不安と不公平感で割以上が可能なら校区外へ通わせたいと思っっている。例えば現在100万円の若者定住促進住宅取得奨励金の補助額を、精華校区では引き上げて複式解消に向けた目

保護者の不安が大きいのは白石小学校での経験上、理解できる。しかし精華校区のみというのは公平性が欠き無理があると思う。学習支援員を活用し教員一人が二クラスを受け持つ時間をできる限り少なくする等を運営努力していきたい。

西元

問 どっちが安全? 集団下校の見直しを

答 学校を中心に 安全第一で対応



また、遊ぼうネ!

集団下校でも最終的に一人になる子もいる。夕暮れの早い冬場は集団下校を守り上級生を待った方が暗くなつて危険な場合もある。保護者が希望すれば津野つ子メールと並用し、個別下校も許可してはどうか。

平井学校教育課長 確かに適さない状況も考えられる。今後は学校を中心に教育委員会を含めて検討し安全第一に対応していく。